

委員会活動紹介

地域連携委員会より

当福祉センターでは、
11月6日に「すこやか健康祭り」
を開催します。

「健康寿命を少しでも長くする
為には・・・」をテーマとし、健
康や福祉の相談、誰にでも出来
る介護予防体操、認知症や介護
技術の講習会等を計画していま
す。

ぜひ、多くの皆様のご来苑を
お待ちしております。

(当日は福祉センターの事業所
見学も実施します。)

担当：大迫

教育研修委員会より

職員の専門性や実践能力を高
めて、利用者により良いサービス
を提供できるように、年間 5～
6 回職員向けの研修会を企画運
営しています。

主には認知症関連、権利擁護、
高齢者虐待等の研修をはじめ、
職員が参加した外部研修の伝達
などもおこなっています。

その成果は、ご利用者ご家族、
関係機関のみ知るところです。

皆様の忌憚なきご意見をお待
ちしています。

担当：阿久根

感染対策委員会より

当委員会は看護師・介護福祉
士・栄養士など様々なメンバーで
構成されており、ノロウイルスや
インフルエンザなどの感染症に対
して、職場内の衛生的環境の把
握と改善を目的とし各施設事業
所の巡回指導を実施しています。
また、定期的な研修やマニュアル
の見直しを行い、センター職員の
意識向上に努めています。



担当：河野

編集後記

秋の季節も感じられるようになってきました。「こもれび」も第二号が発行でき嬉しく思います。今回は、事業所の紹介だけでなく、日々の出来事や制度改正についての記事も載せています。今後もいろいろな情報を発信できたらと思います。皆さんと一緒に作っていかれたらと思っておりますので、「こんな載せて欲しい」などご意見などありましたらお待ちしております。

地域連携委員会 岸本 由美

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム高喜苑
〔介護老人福祉施設・短期入所生活介護事業所〕
TEL 099-284-8250 FAX 099-284-8252 | <input type="checkbox"/> 訪問入浴センター高喜苑
〔指定訪問入浴介護事業所〕
TEL 099-283-4731 FAX 099-283-4733 |
| <input type="checkbox"/> ケアハウス・シルバーフラット武岡台
〔軽費老人ホーム〕
TEL 099-283-6870 FAX 099-283-6871 | <input type="checkbox"/> 訪問給食センター高喜苑
〔鹿児島市委託事業所・配食事業所〕
TEL 099-283-4730 FAX 099-283-4732 |
| <input type="checkbox"/> 指定居宅介護支援センター高喜苑
〔指定居宅介護支援事業所〕
TEL 099-283-4737 FAX 099-281-9360 | <input type="checkbox"/> グループホーム武岡5丁目
〔認知症対応型共同生活介護事業所〕
TEL 099-282-6081 FAX 099-283-3533 |
| <input type="checkbox"/> 指定居宅介護支援センター武岡台
〔指定居宅介護支援事業所〕
TEL 099-281-9332 FAX 099-283-4733 | <input type="checkbox"/> グループホーム武岡ハイランド
〔認知症対応型共同生活介護事業〕
TEL 099-283-7231 FAX 099-283-7232 |
| <input type="checkbox"/> 武岡台デイサービスセンター
〔指定通所介護事業所〕
TEL 099-283-6880 FAX 099-283-6872 | <input type="checkbox"/> なでしこ訪問看護ステーション
〔指定訪問看護事業所〕
TEL 099-281-9292 FAX 099-283-4733 |
| <input type="checkbox"/> ホームヘルプステーション高喜苑
〔指定訪問介護事業所〕
TEL 099-283-6875 FAX 099-283-6876 | <input type="checkbox"/> デイサービスセンター高喜苑
〔認知症対応型通所介護〕
TEL 099-284-8254 FAX 099-284-8255 |

こもれび



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 鹿児島県済生会 済生会鹿児島地域福祉センター
〒890-0031 鹿児島県鹿児島市武岡5丁目51番10号 TEL:(099)284-8250 FAX:(099)284-8252
http://www.saiseikai-kg.jp



基本方針

- 1 私達は、利用者から信頼され、満足していただける介護・福祉を目指して、常に利用者の立場に立ち、利用者の気持ちになって介護を行います。
- 2 私達は、利用者の権利を尊重し、その意思に添えるよう努めます。
- 3 私達は、常に利用者の安全に気を配り、安心して介護が受けられるように努力します。
- 4 私達は、最新の介護知識や介護技術の習得に研鑽します。
- 5 私達は、地域の人々と交流を図り、人々が求めている要望に応えられるよう努力します。

基本理念

「救済済生」の済生会精神に則り、福祉に貢献する。



今年、自然の大災害が多発した。昨年終わりから年初めにかけて、口蹄疫の蔓延は宮崎県から牛がいなくなったと、嘆かせた程であった。また一連の鳥インフルエンザ騒動では出水の鶴にまで及んだ。霧島の新燃岳の大噴火。そして、3月には東日本の大震災・福島原発の事故である。酷暑・熱帯夜の異常気象が続き、また9月には台風12号が、和歌山・奈良県に未曾有の大洪水を引き起こした。まるで人間の環境破壊に対して地球の怒りが爆発したかのようである。自然に対しては「想定外」など言う言葉は通用しない事を知るべきであった。我々はこれからどのようにすればよいのか、自然の猛威を眼の前には、ただひれ伏すしかないが、少なくとも人災だけは起こさぬよう心しなければ、と思う。

済生会鹿児島地域福祉センター 所長 上田 博章

特別養護老人ホーム高喜苑



楽しく笑って
いきいき長寿!

近年、当施設では寝たきりの方や車椅子利用の方々が多くなり、従来のように皆さんと一緒に外出する機会が少なくなってきました。そこで、今年度より「ふるさと訪問委員会」を立ち上げ、入所者さんやそのご家族にやってみたい事、行ってみたいところ等のご希望をお伺いし、可能な限り希望が叶えられるように支援させて頂くことに致しました。

「ふるさと訪問」の実施に先立ち行ったアンケート調査で一番多かったのがお墓参り。次に好きなものを食べに行きたい、自宅に帰りたい、海を見に行きたい等の希望がありました。

8月、お墓参りと昼食会をご希望されていたお一人の入所者さんと県外から帰省されていたご家族の方々と一緒に、初めての「ふるさと訪問」を行いました。



寺院の中にある納骨堂では仏壇の前でしっかりと両手を合わせ、お参りをされました。昼食は、茶碗蒸しが好物というご本人のご希望により和食系のレストランを選択。目の前いっぱい置かれた料理に思わず笑みがこぼれ、苑とはまた違う笑顔を見せてくださいました。娘さん、お孫さんも、「4、5年一緒に外出したことがなかったのでうれしかった」と大変喜ばれ、私たち職員も入所者さんやご家族と楽しい時間を過ごすことができました。

「施設に入っても自分のやりたいことができるんだ!」「あきらめなくてもいいんだ!」と思って頂けるように、お一人おひとりに寄り添って頂けるような施設になるように努めていきたいと思えます。

担当:塩田 孝洋



なでしこ訪問看護ステーション



ひとりひとりの
ニーズに応じて...

ご利用者のお宅を訪問させていただくと、ありがたいお言葉をかけていただくことがあります。「この仕事をやっていて良かった～。またがんばろう!」という気持ちになります。今回は利用者ご家族からいただいたお手紙の一部を、ご紹介させていただきます。

94歳認知症の母と 二人暮らしの56歳男性

『週5日はヘルパーさんと看護師さんの世話になっています。独りで見ていた頃と比べたら今は、天国です。彼女達には感謝の気持ちでいっぱい。仮に私が既婚者でも嫁さんにこんな完璧な介護は望めないでしょう。……』

この後も私どもが、恐縮してしまうくらいの感謝の文章が続いていました。大切なお母様のケアを任せていただけるだけでもありがたいのに……本当にうれしかったです。

毎日の訪問の中で素敵な出会いや場面があり、このような励ましをいただけてありがたい限りです。今後とも、ご利用者皆さんに、喜んでいただけるよう笑顔添えて訪問させていただきます。

なでしこ訪問看護ステーション 担当:川畑 まゆみ

ご主人を一生懸命お独りで 介護されている奥様

毎年、季節の変わり目に優しいお言葉をいただいています。

『暑中お見舞い申し上げます。なでしこのみなさまのおかげで、安心しておだやかな時を過ごすことができ、感謝の日々でございます。これからもよろしくお願致します。みなさまもご自愛のほど祈念致します。』

シルバークラウド武岡台



いつでも安心・・・
癒しの暮らしを・・・

ケアハウス「武岡台学校」開校

濟生会創立100周年となる今年、ケアハウスでは、入居者の介護予防への取り組みを支援することを目的に「武岡台学校」を開校しました。4月からこれまで開催した様々な活動や各種公開講座をご紹介します。…

〔課外活動〕として・・・

「花かごしま2011」:第28回全国都市緑化かごしまフェアに出掛けました。緑豊かな郊外に特設された会場をのんびり散策しながら色とりどりに咲き誇る花々を鑑賞しました。

「よしみクルーズ」:桜島フェリーに新しく就航したバリアフリー船「新桜島丸(さくらエンジェル)」で錦江湾を周遊。間近に迫る雄大な桜島の眺望を楽しみながら名物のうどんやおにぎりに舌鼓。

「ようこそ森のピアテラスへ」:爽やかな風が心地よい小高い丘にあるピアガーデンに出掛けました。眼下に夜景を眺めながら戴く生ビールは最高!初夏を満喫しました。



「涼味満点!そうめん流し」:山間の田園風景が広がる霧島市溝辺町の竹川峡に出掛けました。特製つゆで戴くそうめんや合鴨農法で育てたお米で握ったおにぎり、幻の魚「やまめ」の塩焼きなどご当地ならではの食材をまるごと美味しく戴きました。

〔地域交流活動〕として・・・

「ふれあいサロンコンサート」:地元のピアノ教室と共催で

コンサートを開きました。ピアノ演奏やコーラスを楽しんだり、全員で合唱したりして和やかな雰囲気の中でほのぼのとしたふれあいのひと時を過ごすことが出来ました。

「地域児童との交流会」:武岡小学校の6年生と歌やお手玉などの昔懐かしい遊びで楽しみました。手作りのプレゼントの贈呈もあり会場は終始笑顔であふれていました。

〔公開講座〕として・・・

「口の勉強会」:歯科医師による機能や口腔ケアの重要性についての講義。

「怖い!食中毒」:施設の栄養士による手洗いと食中毒予防対策について講義。

「健康体操教室」:武岡台デいの専任インストラクターによる講義を受け、「健康寿命の延長に向けて」健康体操を実践しました。

学校では「美食巡り」「美術館探訪」や、「武岡台校区文化祭」への参加のほか、「地震災害に備える」「感染症とその予防対策」等の公開講座を予定しています。

毎回好評の「武岡台学校」

地域の皆様方のご参加大歓迎です。
事業所(283-6870)まで
お問い合わせください。



担当:藤岡 芳昭

訪問給食センター高喜苑



とどけます!
やさしい心とおもてなし

訪問給食では自宅で食事を作るのが困難な方に配食をしています。自宅1人で食事をする時にお弁当からが季節の移り変わり等を感じていただけるよう心がけています。

9月9日の「重陽の節句」はあまり知られていませんが、暑さも和らぎ秋の訪れを食事から感じてもらえたらという思いで、栗ごはんを取り入れました。

☆重陽の節句☆

菊に長寿を祈る日です。陽(奇数)が重なる日、その中でも一番大きな数字という意味で重陽といわれています。日本では奈良時代から宮中や寺院で菊を觀賞する宴が行われています。菊は「翁草」「千代見草」「齡草」と言われ、邪気を祓い長生きする効果があると古代中国では信じられていました。その影響を受けて平安時代に入って日本では菊の花を浸した「菊酒」をのみ、悪気を払う菊花

の宴をするようになったようです。

平安時代以前は、農山村や庶民の間で秋の収穫が行われる時期に「栗の節句」と呼び、栗ご飯などで節句を祝っていたようです。

担当 鹿籠六 彩子

「栗ごはん」(1人分)

- 〔材料〕
- ・こめ…60g
 - ・むき栗…30g
 - ・こいくちしょうゆ…3g
 - ・うすくちしょうゆ…3g
 - ・料理酒…2g
 - ・みりん風味調味料…2g
 - ・いりごま…適量



武岡台デイサービスセンター



出会えて…よろこび…
あふれる笑顔

武岡台デイサービスセンターでは、ご利用者の心身の機能が維持、改善できるようにパワーリハビリを中心とした機能訓練を行っています。

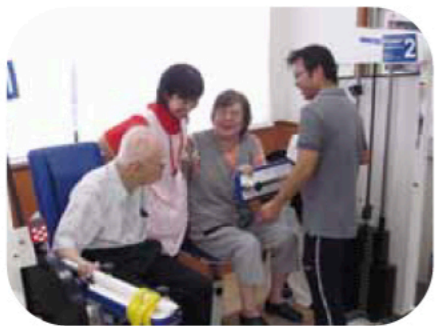
日常生活における目標達成、日常生活動作の維持・改善、廃用症候群の予防などが図れるように、ご利用者一人ひとりの意向や心身の状態に応じて個別の訓練プログラムを作成し、初めての方でも安心して運動が出来るよう、看護師や運動指導員が協働して個別に指導を行います。

パワーリハビリテーションとは、準備体操（ストレッチ）やマシントレーニング、整理体操など一連の運動のことをいいます。

準備体操では、上肢（手・腕）や体幹（腹筋・背筋周り）、下肢（足）などを自分で出来る範囲で動かしたり、伸ばしたりして、筋肉や関節をほぐします。また、自宅でも安全に運動が続けられるように、椅子に座って出来るような体操の指導も行います。

マシントレーニングは、ご利用者一人ひとりの身体の状態に応じて実施できる機種を設定し、ご利用者が「軽いかなあ〜」「ちょうど良いかなあ〜」と感じる程度の負荷や回数で、無理のない範囲の運動を実施していきます。

また、その方



の状態に応じて歩行訓練や階段昇降訓練なども個別に行っています。

運動の効果としては動作の衰え、体力低下、活動性の低下などの改善が挙げられます。利用者からは、開始前と比べて、「腰や膝の痛みが軽減した」「長い距離を歩いて前より疲れなくなった」「一人でも外出が出来るようになり自信がついた」などの自己評価をいただいています。「会話量が増えた」「笑顔が増えた」「運動後は気分が良くなる」など、精神面の効果もあり、生活意欲の改善も見られます。

【※機能訓練実施中は、定期的に評価を行い運動の効果を確認して行きます。】



皆さんの「健康寿命を少しでも伸ばす」ために、一緒にリハビリをしていきましょう。

担当：福崎 修也

ホームヘルプステーション「高喜苑」



笑顔と温かい
声かけを…

当事業所では、より専門性の高いホームヘルパーを目指して研修会を行っています。年度始めに策定する「年間研修計画」に基づいて実施される研修会は、介護技術や調理実習をはじめ、救急時の対応・関係法令などのテーマに沿って専門の講師をお招きして毎月1回開催する予定にしています。



7月は 足浴や排泄介助（オムツ・リハビリパンツの交換含む）、ベッドからの起き上がり、移乗介助など基本的な介護技術の講習会を開催しました。

利用者への細かい配慮や必要道具の使い方の工夫、利用者1人ひとりの身体状況や生活環境の違いにおける対

応の仕方や精神面のフォローなどについて学びました。

講習会に参加したヘルパーは、自分の介護技術力を振り返る好機となり、個別対応における介護技術の重要性を認識し、反省点や留意点等に気づき、介護・介助力の向上へとつなげる事ができました。



今後もこのような研修会を継続して開催する事によって、ご利用者の思いをお聴きし受け入れながら1人ひとりの思いに沿った支援が出来るよう努めていきたいと思えます。そして、どんな時でもご利用者、ご家族に安心してご利用頂けるようなホームヘルパーでありたいと思えます。

担当：浅谷 あき子

ボランティア依頼

済生会鹿児島 地域福祉センター「高喜苑ボランティアクラブ」入会募集

**入居者や利用者と笑顔の交流を
していただけるボランティア募集しています**

- …団体・個人どなたでも…
- ・直接的な介護やお世話、話し相手
- ・演劇や舞踊、手品、大正琴、合唱などレクリエーション
- ・水墨画、書道、手芸等を教えて下さる方
- ・施設整備、清掃等のお手伝い

詳細につきましては、地域連携委員会 までご連絡下さい。

TEL：099-283-6870（シルバーフラット武岡台）



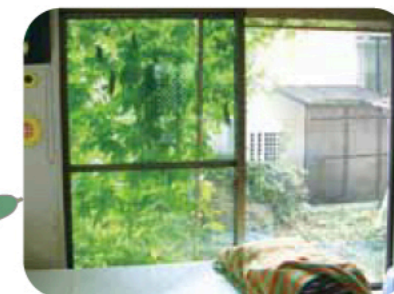
デイサービスセンター高喜苑



地域と共に
寄り添いながら

認知症対応型通所介護事業所として7年目に突入しました。デイサービスとして、ご利用者に楽しんで頂けるよう、季節にあった行事やレクリエーションを行い、また、脳の活性化を目的とした検査や訓練など専門的に取り組み、時間はあっという間に過ぎてきました。これまでたくさんの方々と時間を共にさせていただき、身体的な介護はもちろんですが、認知症の方々との「寄り添い」の重要性を常に感じています。

ご利用者の方には、認知症が進行していく中で、強い不安や戸惑いの中に置かれ歩きだしたり、怒り出したり、大きな声を出したりと、いろいろな訴え方をされます。私たちはそんな時に、一緒に行動を共にし、隣に寄り添い、顔を見るだけでホッとさせる安心感を感じて頂けよう、なじみの関係づくり、心安らぐ関係づくりに努めてきました。開所当時からのご利用者も多く、笑顔も増え、リラックスして過ごしていただく



*優しい日陰のエコカーテン「にがうり棚」
「にがうり料理の話題もひろがりました」

環境が出来てきたように思えます。今後も、多くの方々の「心安らぐ居場所」作りを行い、「高喜苑に行ったら良かった」と言われるように努めていきたいと思えます。

担当：大野 聡



訪問入浴センター高喜苑



温泉で心も身体もリフレッシュ!

訪問入浴では、事業所に帰着し、用具の洗浄、機器の点検などを行った後に毎日スタッフミーティングを行い、入浴サービスの提供に問題はなかったか、もっと他に良い方法はなかったか等々の話し合いを行います。

また、よりよいサービスの提供を目指して、毎月1回事例を基にスタッフをモデルにしたデモンストレーションを行い、ベッドから浴槽により安全に移動していただくにはどうすればよいか・肌の弱い利用者の入浴中の体位は横向きが良いか、座位が良いか・利用者の肌に直接触れる機材や道具は安全か・利用者への声かけの仕方、内容、タイミングは適切か・お湯の温度や入浴時間は今の気候に合っているか・安全への見配りはしっかりと出来ているか・ご家族への介護負担への気配りはちゃんとできているか等々、あらゆる項目についてスタッフ全員で確認し合いながらスキルアップを目指しています。

ご自宅で楽しみ待っていただいている利用者「暖かいお風呂」と一緒に「笑顔」や「元気」もお届けできるようスタッフ一同頑張ります。

これからも、入浴や介護でお困りのことがございましたらお気軽にご相談ください。

担当：松崎 和久



グループホーム



オーダーメイドの生活を・・・

私たちのグループホームでは、共に過ごすことによって一人ひとりの思いや希望・意向に配慮し、入居者の皆様とスタッフが、喜怒哀楽を共にしながらお互いに支え合う関係作りに努めています。ホームでは、炊事（野菜の皮むきなど）や洗濯・掃除を手伝っていただいています。

好きな時間に歩行訓練をしたり、百人一首の書写などの趣味活動を楽しんでいらっしゃいます。ときには皆で懐かしい歌を合唱したり、天気の良い日には周辺の散策や、中庭の菜園で栽培した季節の野菜を収穫しながら思い思いに日々を過ごされています。

また、ご家族との交流や、季節の移ろいを感じていただくために、買い物や外出などご家族やスタッフと共に出掛ける機会をつくり喜んでいただいています。

これからも、それぞれのペースを大切にしながら、一日



“家族交流会（焼き肉パーティー）での楽しいひと時”

一日をどのように過ごしたいのか、希望に沿えるよう支援に努め、お1人おひとりがその人らしく笑顔に満ちあふれた生活を続けていけるように心がけていきます。

担当：宮田 茂樹

ニューフェイス New Face



このたび、特別養護老人ホーム高喜苑にて、生活相談員を務める事になりました。これまでは、同施設の介護職員として、入居者の生活全般の介護をしてまいりました。

生活相談員は、その名の通り入居者などの相談を受けることが主な役割なのですが、入居者からの生活全般に関する相談や、新たに「施設に入所したい」「ショートステイを使いたい」などのご利用者の相談に応じたり、病院や他事業所と自事業所とのパイプ役となり、互いが良好な関係を築けるように努める役割も担っております。

今まで、直接的な介護に携わっており、このような相談業務という仕事は未知の世界で、戸惑い迷うことも多いと思いますが、これまで介護という現場で直接、入居者の方と関わっていきなかつた経験を活かし、今までと違った側面から入居者を支えていくことができるように、気持ち新たに努めていこうと思います。

何か介護のことでお悩みがありましたら、気軽にご相談ください。

特別養護老人ホーム高喜苑 塩田 孝洋



平成15年に入社し本年5月から、居宅介護支援センター高喜苑の管理者に就任しました。医療機関でしか働いた事なかった私にとっては、ケアマネージャーとしてどのように仕事をしていったらよいかさえずらず、不安に押しつぶされそうになりながら仕事に追われる日々でした。

その中で、たくさんのご利用者との出会いがありました。深い人生経験をお持ちの皆様から教えて頂く事は多く、時には励まして頂き、頑張っている姿に勇気や希望を持ち続ける事の大切さを教えて頂く事もありました。

ご利用者には、それぞれの生き方や生活があり、そのひとつひとつを尊重し、私共がその方の人生に関わらせて頂くことで「その人らしさ」を支えていけたらと思います。

「真摯さ」をいつまでも持ち続けながら前向きな気持ちで何事にも取り組んでいきたいと思っています。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

指定居宅介護支援センター高喜苑 磯口 智子

居宅介護支援事業所



あなたの暮らしを地域とともに

2012年 介護保険制度改正のポイント

介護保険がスタートして10年以上が経過。「5年後ごとの見直し」という当初の方針に基づき、今回は平成18年度の大きな改正に続き、2回目の改正となる。

【改正の3つ軸】

1. 地域包括ケアの推進

- 「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」・・・訪問介護+夜間対応型訪問介護+訪問看護の3サービスを統合したイメージ
- 「複合型サービス」・・・訪問介護、訪問看護、訪問リハ、通所介護、小規模多機能型居宅介護などの居宅系・地域密着型サービスから、2種類のサービスを組み合わせる一体的な提供を可とする。

2. 市町村の主体的な取り組みの強化

- 「介護予防・日常生活支援総合事業」
本人の意思を尊重しながらも、市町村・地域包括支援センターが、利用者の状態像や移行を踏まえて、予防給付か、介護予防・日常生活支援総合事業のいずれが適切か判断し、選択肢を増やす。
- 「市町村の権限の強化」
国が定めた一定の枠内で、市町村は地域密着型サービス（介護予防ケアによるサービスなど）の介護報酬を決めることができるようになる。公募制を通じた選考により地域密着型サービスの事業者指定を行えるようになる。

3. 重度化した利用者の在宅療養ニーズの担保

- 「介護職によるたん吸引等の解禁」
介護福祉士については、資格取得に際して喀痰吸引等研修のカリキュラムが追加され、それを修了したもののついて喀痰吸引が可能となる。
- 「介護型療養病床の廃止時期の延長」
当初平成23年度末までの全廃が決まっていた介護型療養病床の廃止時期を6年延長し、平成29年度末まで効力を有する。（平成24年4月1日の時点で指定を受けているものに限る。）
- 「高齢者向けケア付き住宅」
高齢者の居住の安定を確保する為、バリアフリー構造等を有し、介護・医療と連携して、高齢者を支援するサービス提供を行う高齢者向け住宅。安否確認・生活相談サービスの提供。「90日ルール」の法制化。

※平成23年8月時点の情報を簡単に抜粋しまとめたものであり、2012年の改正までに詳細等明らかになるとは思われます。

担当：岸本 由美

